

# 令和2年度予算審査特別委員会報告書

令和2年3月23日

大山町議会議長 杉谷洋一様

令和2年度予算審査特別委員会  
委員長 大杖正彦

令和2年3月4日、令和2年第2回大山町議会定例会において設置された議員全員による、令和2年度予算審査特別委員会に付託された予算の議案について審査したので、会議規則第77条の規定により下記のとおり報告します。

## 記

### 1. 事件名

- 議案第27号 令和2年度大山町一般会計予算
- 議案第28号 令和2年度大山町土地取得特別会計予算
- 議案第29号 令和2年度大山町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算
- 議案第30号 令和2年度大山町開拓専用水道特別会計予算
- 議案第31号 令和2年度大山町国民健康保険特別会計予算
- 議案第32号 令和2年度大山町国民健康保険診療所特別会計予算
- 議案第33号 令和2年度大山町後期高齢者医療特別会計予算
- 議案第34号 令和2年度大山町介護保険特別会計予算
- 議案第35号 令和2年度大山町農業集落排水事業特別会計予算
- 議案第36号 令和2年度大山町公共下水道事業特別会計予算
- 議案第37号 令和2年度大山町風力発電事業特別会計予算
- 議案第38号 令和2年度大山町温泉事業特別会計予算
- 議案第39号 令和2年度大山町宅地造成事業特別会計予算
- 議案第40号 令和2年度大山町索道事業特別会計予算
- 議案第41号 令和2年度大山町水道事業会計予算

### 2. 事件の内容 令和2年度各会計当初予算の審査

### 3. 審査の経過及び審査の結果

付託を受けた15議案について、分科会方式により、令和2年3月5日から11日の5日間審査を行うとともに、3月16日全体会を委員全員で行った。

審査の結果、付託された15議案すべてを可とすべきものと決した。

#### 4. 令和2年度予算の特徴

##### 令和2年度大山町一般会計予算

一般会計予算は、総額108億8,000万円で、平成31年度当初と比較すると9億2,000万円(9.2%)の増となっている。

##### (歳入について)

町税収入は、15億8,873万円で、前年度比1,638万円、1.0%の増となっている。固定資産税を4,255万円の増と見込んでいる事が主な要因である。

地方交付税は、46億4,000万円で、前年度比1,000万円、0.2%の増となっている、普通交付税は、合併算定替措置がなくなることから1,000万円の減が見込まれる。特別交付税は近年実績から2,000万円の増と見込まれている。

町債は、7億6,310万円で、前年度比9,570万円、14.3%の増となっている。道路改良事業の増により土木債を前年度比1億260万円増として計上された事が主な要因である。

##### (歳出について)

義務的経費は、人件費が22億8,189万円で、前年度比6億3,211万円、38.3%の増となっている。会計年度任用職員制度の開始により、これまでの嘱託、臨時職員、一部の非常勤特別職員が会計年度任用職員になる事が主な要因である。

投資的経費のうち、普通建設事業費が14億4,302万円で、前年度比7億8,870万円、120.5%の増となっている。畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業4億5,000万円が主な要因である。

その他経費のうち物件費が、18億1,000万円で前年度比5億670万円、21.9%の減となっている。会計年度任用職員制度の開始により、嘱託、臨時職員等賃金が皆減になる事が主な要因である。

積立金は1億6,026万円で前年度比4,687万円、41.3%の増となっている。ふるさと応援寄付金が伸び、ふるさと応援基金積立金を前年度比7,364万円の増と見込まれたことが主な要因である。

新規事業としては、JR下市駅南出入口整備に736万円、胃がん検診に併せて実施するピロリ菌検査の助成金400万円、読書結果の可視化により読書を推進するための読書履歴通帳の導入に369万円、新規漁業就業者の研修費用補助金1,194万円、町道末長妻木線拡幅工事測量設計に2,100万円などが計上されている。

継続事業としては、地域自主組織育成支援事業に前年度比1,111万円増の4,666万円が計上されている。同和対策事業の地区活動費補助金は平成31年度と同額の410万円、インフルエンザ予防接種費用助成対象年齢を18歳まで拡充することによる48万円の増、防災対策費として防災監視設置に275万円、観光振興のための地域おこし協力隊員費416万円、大山寺旧境内石垣復旧工事費

として 3,212 万円が計上されている。また、令和 2 年度途中に社会福祉協議会の福祉充実残額が無くなることから人件費などの補助金 2,831 万円が再開される。

なお、令和 2 年度大山町一般会計予算の中で、同和対策の事業内容と地区活動費補助金の積算額について疑義があるとの意見もあったが、採決の結果、賛成多数で可とすべきと決した。

特別会計については、以下の通りである。

#### **令和 2 年度大山町土地取得特別会計予算**

本会計予算は、公共事業用地を先行取得するための会計である。令和 2 年度も事業計画がなく、予算総額は 11 万円で、土地開発基金から生じた利子を基金に積立するものである。

#### **令和 2 年度大山町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算**

本会計予算は、住宅新築資金等貸付金の徴収及び起債償還事務を行う会計である。

予算総額は 1,025 万円で、前年度比 87 万円の増となっている。

なお、令和 2 年 2 月時点での滞納額は 2 億 7,261 万円となっている。

#### **令和 2 年度大山町開拓専用水道特別会計予算**

本会計予算は、名和・中山・大山地区の開拓専用水道の施設維持管理に要する経費を計上するもので、歳入歳出総額 1,287 万円となっている。

歳入では、料金収入が 954 万円、開拓専用水道施設整備基金繰入金 250 万円となっており、歳出では、老朽化した配水設備修繕費 250 万円、維持管理負担金 200 万円の他、主要地方道赤碓大山線の改良工事に伴う給配水管布設替工事費 300 万円、県営なかやま 3 区農業競争力強化基盤事業の新水源調査費として一般会計への繰入金 250 万円などが計上されている。

#### **令和 2 年度大山町国民健康保険特別会計予算**

総額は 22 億 6,689 万円で、前年度比 9,124 万円の増になっている。

本年度も基金 1,000 万円を取り崩し、資産割を廃止した国民健康保険税率変更による激変緩和を図っている。

新規事業として人間ドッグ事業の未受診者に対する受診勧奨ハガキ郵送に 18 万円、AI を利用した特定健診受診率向上事業委託に 376 万円、次年度予約システム事業委託に 6 万円など、受診率向上に向けての予算となっている。

#### **令和 2 年度大山町国民健康保険診療所特別会計予算**

総額は 3 億 6,157 万円で、前年度比 244 万円の減となっている。

歳入では、健康診断手数料が 40 万円増、繰入金 77 万円の増で町債 990 万円を計上している。

歳出では、名和診療所の X 線装置室改修工事 70 万円や全自動血球計数機購入費など 946 万円、大山口診療所備品の全自動血球計数機購入費 265 万円などである。

#### 令和 2 年度大山町後期高齢者医療特別会計予算

後期高齢者医療制度に基づき、被保険者から納付された保険料を鳥取県後期高齢者医療広域連合に、保険料負担金・事務費負担金として納付することを目的とする会計である。

令和 2 年度当初予算は、高齢化による加入者増が続き 2 億 2,616 万円で前年度比 832 万円増となっている。保険料収入は、前年度比 1,281 万円増の 1 億 5,173 万円である。

#### 令和 2 年度大山町介護保険特別会計予算

総額は、22 億 6,381 万円で前年度比 4,747 万円減となっている。

歳入では、保険料収入が被保険者減により 2,270 万円の減、また、国庫支出金が 999 万円、支払い交付金が 920 万円、繰入金が 905 万円、それぞれ減となり、県支出金は 37 万円の増となっている。

歳出では、今年度と同様の予算執行を見込んでいるが、実績により居宅介護サービス給付費 1,500 万円、居宅介護サービス計画給付金 320 万円、地域密着型介護サービス費 900 万円がそれぞれ減となっている。

#### 令和 2 年度大山町農業集落排水事業特別会計予算

総額は、4 億 8,026 万円で前年度比 4,381 万円の減となっている。

歳入では、農業集落排水使用料 1 億 1,848 万円、一般会計からの繰入金 3 億 2,983 万円、町債 1,290 万円等が計上されている。

歳出では、公債費 3 億 145 万円、施設管理費 1 億 3,355 万円が計上されている。施設整備費は上野末吉処理区機能強化工事が完了したため計上はない。

#### 令和 2 年度大山町公共下水道事業特別会計予算

総額は、4 億 1,744 万円で前年度比 1 億 8,402 万円減となっている。

歳入では、公共下水道使用料 1 億 2,041 万円、町債 4,420 万円のほか、一般会計からの繰入金 2 億 4,642 万円が計上されている。

歳出の主なものは、公債費 2 億 5,689 万円、施設管理費がマンホールポンプ制御盤更新工事などにより 2,847 万円増の 1 億 2,434 万円が計上されている。

#### 令和 2 年度大山町風力発電事業特別会計予算

本会計予算は、風力発電所施設の運転管理、施設管理を行うための会計である。

予算総額は 4,052 万円で、前年度比 63 万円の増となっている。

起債の償還が平成 31 年度で終了し、令和 2 年度からこれまで起債償還に充てていた部分については基金への積み立てとされる。

#### 令和 2 年度大山町温泉事業特別会計予算

なかやま温泉に係る温泉の給湯、温泉館の維持管理運営等を行うための会計である。

予算総額は 620 万 4 千円で、前年度と同規模となっている。備品購入費として監視カメラ更新にかかる費用が計上されている。また、開館から 20 年が経過し、今後も事業を安定して継続するための揚湯試験が予定されている。

#### 令和 2 年度大山町宅地造成事業特別会計予算

本会計予算は、前年度とほぼ同額の 2,522 万円である。

主な歳入は、前年度販売実績はなかったが、引き続きナスパルタウン 3 区画の販売収入 1,775 万円が計上されている。

歳出の主なものとして、公債費 748 万円、購入者紹介謝礼としての報償費 150 万円、維持管理委託料 100 万円と一般会計への繰出金 1,482 万円が計上されている。

#### 令和 2 年度大山町索道事業特別会計予算

索道事業の維持管理を行うもので、前年度比 231 万円減の 2,804 万円である。

歳入の主なものは、雑入の指定管理納付金 1,961 万円と一般会計からの繰入金 813 万円である。

歳出の主なものは、リフト敷地賃借料 1,322 万円、スキー場行事などの負担金 215 万円、PR 事業補助金 100 万円などである。

#### 令和 2 年度大山町水道事業会計予算

収益的収入は 2 億 9,326 万円、収益的支出 2 億 9,853 万円。

資本的収入は 1 億 138 万円、資本的支出 1 億 8,827 万円となっている。

主な事業として収益的支出は、水道事業変更認可申請書作成業務委託料に 726 万円、資本的支出は、令和元年度に調査した名和第 3 水源ほか用地取得に 381 万円、同じく名和第 3 水源さく井業務、中山第 2 配水池測量設計業務などの委託料に 5,136 万円、また長田低区配水池連絡管接続工事などに 2,158 万円が計上されている。

### 5. 付 帯 意 見

- (1) 令和 2 年度大山町一般会計予算において、防災監の設置については、平成 31 年度からの継続事業であるが、業務内容・役割ともに住民に見えにくく、行政が求める防災力強化に効果的かは不明確である。  
また、様々な災害に対応できるような人材の採用を検討するよう求める。
- (2) 雪不足および新型コロナウイルスによる経済被害への対応について。  
今シーズンの大山ホワイトリゾートの入込客数は、記録的な雪不足で 5 年前に比べ 1/4 の約 4 万 9,000 人で、追い打ちをかけるように、新型コ

コロナウイルス感染により町内産業への影響も拡大しつつあり、特に観光関連事業者への打撃は大きい。

町行政としては被害報告をまとめ、農林水産業関係者・観光局・商工会・金融機関などと連携し、必要な対応や支援を最大限に行うことが、従前から課題となっている観光局の体制強化や観光地域づくり法人「DMO」の設立になると思われるので、積極的な取り組みを求める。